



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報

(令和5年7月6日) 第9号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

青谿書院塾 ～やぶ・ふるさとキャリア教育事業～

6月22日(木)、1年生が宿南地区の青谿書院に足を運んで、その歴史や池田草庵先生の生涯について勉強しました。講師の先生からは、池田草庵先生の生い立ち、「青谿」の名前の由来、青谿書院の生活ぶり、池田草庵先生が大切になされた数々の言葉などについて丁寧に説明があり、生徒



はメモをとりながら熱心にその話を聴いていました。青谿書院を初めて訪れたという生徒もかなり多く、「八鹿青溪中学校」の原点のひとつであるこの場所に身を置く時間はたいへん意義深いものになったと思います。

第3回全校集会

7月3日(月)、今年度3回目の全校集会を行いました。

「いよいよ、運動部の皆さんには但馬総体が、吹奏楽部の皆さんにとっては但馬吹奏楽コンクールが近づいてきました。私も皆さんと同じように中学生であった時期があり、昭和59年7月に但馬総体に臨みました。「関宮」と書かれた野球のユニフォームを着て、ピッチャーで、その日の対戦相手は日高東中学校、場所は豊岡市民球場でした。そして、この試合で、なんと! とんでもなく大きな出来事に遭遇することになるのです。まさかこんなことが起きようとは自宅を出る前には全く想像もしていませんでした。<以下略>(部活動壮行会につづく)」



部活動壮行会



7月4日(火)、但馬総体、但馬吹奏楽コンクールに向けて部活動壮行会を行いました。どの部も精一杯頑張ってきてほしいものです。激励の言葉として以下のような投げかけをしました。

「部活動が“競技”である以上、勝たなくてははいけません。とことん、勝利にこだわって試合やコンクールに臨んでください。しかしながら、いっぽうで皆さんはけっして“プロ”ではありません。“プロ”ではないということは、たとえ負けたとしても、得るものは必ずあるということです。とことん勝利にこだわった結果ならば、たとえ敗れて帰ってきたとしても私は皆さんに大きな拍手を送ります。



さて、昭和59年の夏、私もとことん勝利をめざして戦いました。延長9回まで続いたその試合は、0-0の引き分け。そして、審判の指示により出場選手9人どうして、なんと!ジャンケンをすることに!ところが、私たちのチームはわずか2人しかジャンケンに勝つことができず、それが私の部活動引退の瞬間でした。“敗戦”の瞬間、立っていられなくなり、地面に手を突いて泣きました。・・・どうか皆さんには勝ってもらいたい。“チーム八鹿青溪”として、とことん勝ちにこだわって、但馬総体、但馬吹奏楽コンクールに臨んでください。応援しています。」

教員の働き方改革(業務改善)

多忙な学校現場の現状がよく新聞等で報道されます。そして、そのことが教員志望者の減少に影響を与えているとも言われます。果たして多忙な学校現場と教員志望者の減少との間に本当に因果関係があるのかよく分かりませんが、教員が正規の勤務時間を超過して仕事に励んでいるのはたしかに事実です。ちなみに、八鹿青溪中学校の教員の正式な勤務開始時刻は8時05分です。また、正式な勤務終了時刻は16時35分です。しかしながら、生徒の登校までに出動しようと早めに学校へ来る教員も多いですし、部活動をはじめさまざまな用務のために夜遅くまで退勤できない教員も少なくありません。学校はどうすれば教員の超過勤務を減らすことができるか(教員の働き方改革)を独自に思案していますが、解決のためには課題が多いのも現状です。

ところで、8月10日(木)～16日(水)は、教員一斉の休暇取得を奨励しています。したがって、お盆前後に学校へ連絡をいただいても不在の場合があるということをご了承ください。これは、教員が2学期以降も生徒たちに全力で関わっていくための“リフレッシュ期間”と考えています。

※緊急の連絡がある場合は、養父市教育委員会こども学び課までお願いします。(午前8:30～午後5:15)



生徒に寄り添う八鹿青溪中教員～カウンセリング～

八鹿青溪中学校の教員は、生徒の心に寄り添うことを大切に、できるだけ個々の悩みに耳を傾けて、その解決のための支援をしようとしています。生徒の悩みとは学習面をはじめとして多岐に渡りますが、時には他の生徒のことを気にかけて声を聞かせてくれる優しい生徒も多く、生徒との対話は私



たち教員にとってもいろいろな気づきや発見のある意義のあるものになっています。今後も続けていきます。

「八鹿青溪帽子」で熱中症を防ぐ～登下校にも着用を～

最近、日中の最高気温が30度を超える真夏日が当たり前になってきています。そのため、熱中症への備えが極めて重要です。本校では暑さ対策も考え、入学時に「八鹿青溪帽子」を購入していただいています。この帽子は授業や学校行事はもちろん、登下校時に着用することを想定しています。積極的に活用し、熱中症予防に役立ててほしいと思います。



7月の「草庵先生の教え」



7月

反観内省

はんかんないせい

自分のことをよく考えて深くかえりみること。

